

**8400 シリーズ
ESD ビニールフロアタイル**

MODEL: 8432 取扱説明書

文書番号 TBJ-9032

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

<はじめに>

この度は、8400 シリーズ ESD ビニールフロアタイルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ごぞいます。



ご注意

- (1)本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万が一不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

<下張り床の条件および準備>

- ・ 下張り床は、きれいで乾いていて、塗料や油、ワックス等の汚れがなく、ひび割れや穴、突起などの欠陥がない状態でなくてはなりません。塗料、シーリング・コンパウンド、古い接着剤、その他異質な材料が無いことが求められます。床荷重要件を満たしているラテックス強化されたセメントの床板の下敷原料を使って、いかなる欠陥や凹凸も継ぎ当ててください。
- ・ 下張り床は、設置の際にタイルの列が不均衡になることを防ぐために水平でなければなりません。必要に応じて、床荷重要件を満たしているラテックス強化されたセメントの床板の下敷原料を使って水平にしてください。
- ・ 以前の床張りから接着剤の残りを取り除くか、もしくは床荷重要件を満たしているラテックス強化されたセメントの床板の下敷原料を 3 mm以上塗ってカバーしてください。
- ・ 新しいコンクリートは十分に硬化させなければなりません。湿気による問題や失敗は製品保証の範囲におよびません。新しいコンクリート下張りの理想的な硬化時間は、注ぎ込みが完了し建物を取り囲んでから 3 か月です。「硬化完了」の判断基準としてコンクリートの MVTR(水蒸気透過率)の測定があります。
- ・ タイル接着剤を最適に粘着させるために、古い新しいに関わらず、機械で空気を噴出させるか削ることによりコンクリートの表面をザラザラにします。

<下張り床の湿度について>

コンクリート下張り床の下や中に過度の湿気があると、フロアカバーの様々なタイプの問題が生じる可能性があります。タイルを設置する前に、産業規格の塩化カルシウムタイプテストキットを使って、コンクリートの MVTR を測定してください。フロアの 93 m²毎に 1 つのテストキットを置くか、1 つの部屋に 3 つ置くことが望ましいです。

24 時間で 100 m²毎の全ての MVTR テストの結果の平均が 1.36 kg以下で、各キットが最大でも 1.58 kg 以下であれば合格です。テスト結果を記録し、業務ファイルに保管しておいてください。業界の経験に基づいて、このガイドラインに適合するコンクリートの床は、湿気に関連する問題が起こる可能性は低いです。

<導電性接着剤>

本製品を設置する際は、承認された導電性接着剤のみを使用してください。推奨されるコテのサイズや塗布率、開放時間を含め、全てにおいて接着剤に付属している説明書に従ってください。

注意: 周辺状況(温度・湿度)や下張り床表面の状態、気孔率、作業者の技術等が接着剤の施工や機能に影響を及ぼす可能性があります。本誌の説明にもあるように、タイルを接着剤上に並べてロールをかけた後、接着剤がタイルの裏面にも適切に付くことが最も重要です。

設置の際、定期的に設置されたタイルを持ち上げて、少なくとも裏面の 80~90%に接着剤が付着しているかどうかを確認してください。この被覆率が接着剤の適切な接着力及び電気的伝導力のカギとなります。被覆率が 80~90%に達していない場合は設置手順に沿って調整してください。

タイル裏面の被覆率が不十分な時は下記原因が考えられます

- ・ 素地に塗布するのに十分な接着剤がない(コテのサイズが正しくない、もしくはコテで塗る技術が適切ではないことによる)。
- ・ タイルを並べる前に接着剤が乾き始めた。
- ・ 並べたばかりのタイルに適切に(すぐに、十分に)ロールをかけていない。

適切なサイズのコテを使うことが大切です。切り込みが小さすぎると少しの接着剤しか塗布できず、仕様以下の接着力・電気伝導性になってしまう原因になります。切り込みが大きすぎると余分な接着剤が塗布されてしまい、ロールをかける際などに継ぎ目からはみ出てしまう可能性があります。また、タイルのずれや浮きの原因にもなり得ます。設置の際は、摩耗によって切り込みのサイズが変わっていないかどうかを定期的にチェックし、すり減ったコテは交換するか切り込みを入れなおしてください。

注意: 本製品は、導電性接着剤と接地用銅板を使って特別な設置を行う必要があります。

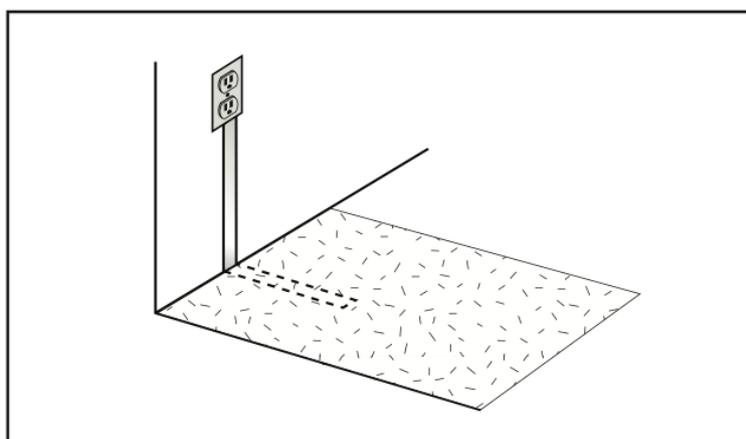
〈製品に関する事項〉

設置前はタイルと接着剤を最低 48 時間、現場の環境下に置いて下準備をしてください。推奨される設置温度下(19°C~29°C)かつ設置場所の周囲状況下で製品を保管します。タイルの箱を最大 5 個までまっすぐに積み重ねます。現場に記載されているロット番号と合うか確認するために、設置を始める前にロット番号をチェックしてください。

施工表面を適切に準備した後は、しっかりと掃き、掃除機をかけ、モップ掛けをしてください。どんなに小さな塵でも残っていると、仕上げられた表面の中でぶつかっていると捉えられ、設置されたばかりのタイルを通して電信されてしまう可能性があります。導電性接着剤とタイルを設置する前に必ず接地ストリップを取り付け、接地用銅板の上に直接接着剤とタイルを設置します。一般的に壁の底面や柱沿って接地ポイントへのアクセスがある場所(コンセント等)で適切なストリップの場所を識別します。100 m²毎に接地用銅板を 1 個設置し、各部屋に最低 2 個は設置してください。



注意: 接地用銅板の端はとても鋭利で危険です。

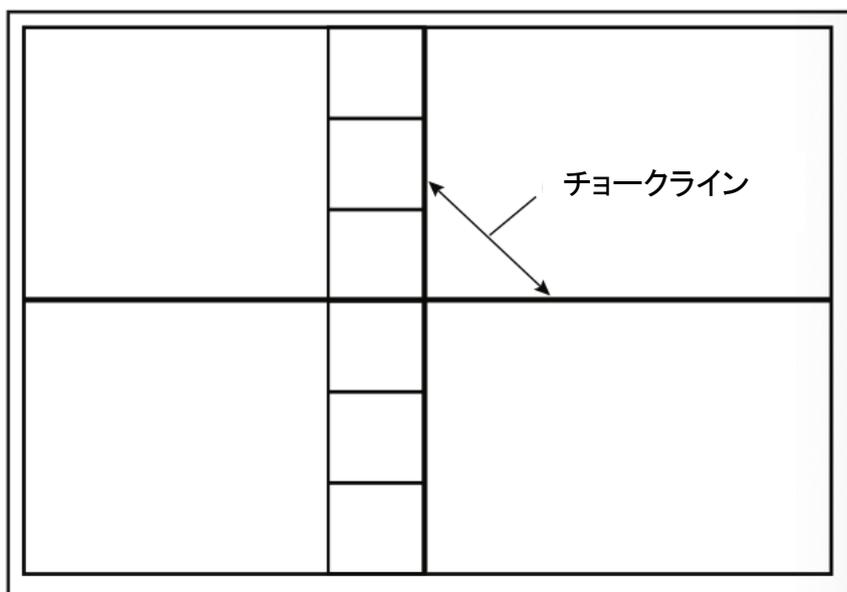


〈設置と接地〉

前頁の絵のように、接着剤を使って銅板の 2/3 をフロア表面に、残りの 1/3 を壁か柱に付けます。

フロアタイルのレイアウト

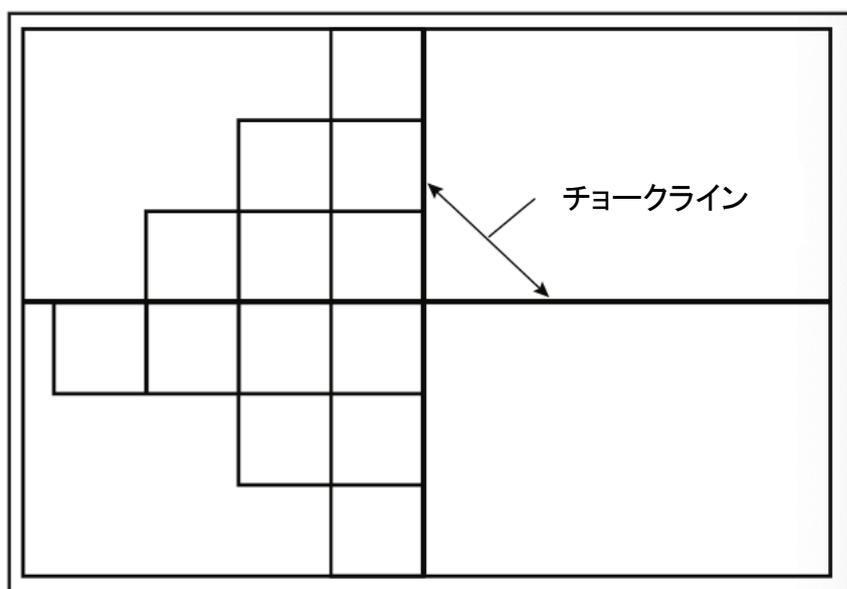
部屋の中心を見つけてマークを付けます。フロアタイルの施工パターンを場所ごとに考え、中心から外側に向かってレイアウトします。チョークラインに合わせて位置をマークします。



接着剤の塗布率

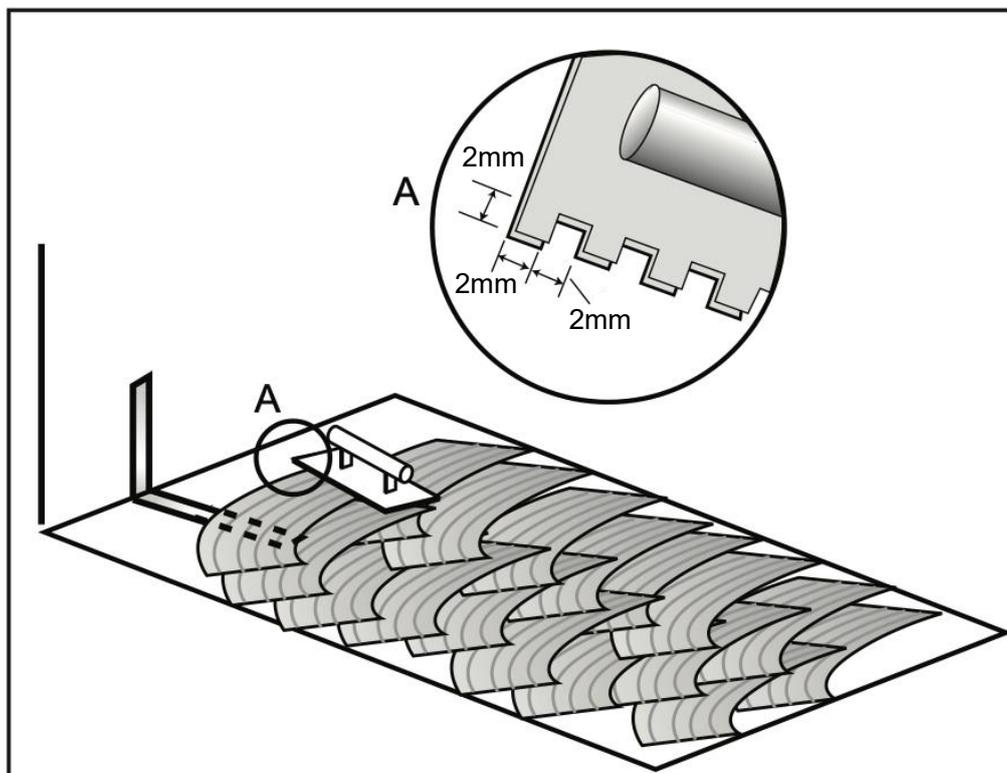
接着剤を適切に使用できるようにコントロールするためには、推奨された散布率に合うように各場所を測ります。例えば、東リ DENC-S 接着剤の通常散布率は、1 セットで約 5 m² 塗布することができます。

注意: 本製品は、導電性接着剤と接地用銅板を使って特別な設置を行う必要があります。



導電性接着剤の施工

接着剤をしっかりと混ぜ合わせ、容器に記載の使用説明に従います。指定されたサイズのコテを使って、最初にマークを付けた箇所内に接着剤を塗布します（東リ DENC-S 接着剤の場合は、2 mm×2 mmの凹凸が 2 mm幅で付いたコテ）。接着剤を塗布した後、約 20 分放置しタイルを並べてください。接地用銅板の上にも直接接着剤を塗ります。混ぜ合わせた接着剤は約 1 時間使用可能ですが、この時間は周囲条件によって変わる場合があります。



タイルの設置

置いたばかりのタイル上にひざまずくことを避けるために乾いた方から設置します。置いたばかりのタイルに乗る必要がある時は、膝用ボードを使用します。各タイルを設置場所に慎重に置き、隣り合うタイルと一緒にしっかりと押します。タイルを横に滑らせて設置しないでください。設置後 30 分以内に約 68 kgの部分用ローラーでロールをかけ、タイルを接着剤にしっかりと埋め込みます。垂直方向に 2 回ロールをかけます。各タイルの裏面に 80～90%接着剤が付着していれば完了です。設置している間、定期的に設置されたタイルを持ち上げて、80～90%に接着剤が付着しているかどうかを確認してください。

接着剤の掃除

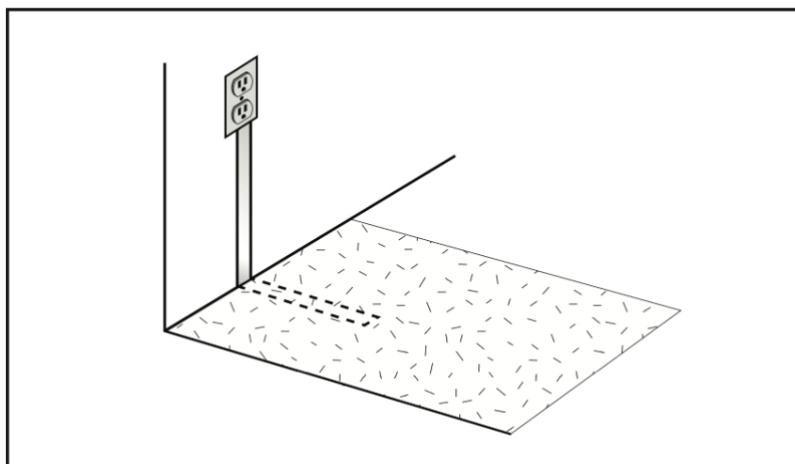
接着剤は継ぎ目から流れ出しタイル表面を汚す可能性があります。はみ出た接着剤は石鹼水を含ませたきれいな布で直ちに拭き取ってください。布を完全にすすいだり、きれいな布を使うことが重要です。いかなる接着剤もすぐに拭き取らないと、硬化した後に取り除くことはとても難しくなります。

硬化時間

新たに設置したタイルは、接着剤を塗布してから最低 24 時間硬化させた後ご使用いただけます。タイルフロアの上で装置を移動させたりタイヤの付いた乗り物を使用するには、最低 48 時間お待ちください。

接地銅板接続

注意: 81524 接地用銅板は確立した接地もしくは電気コンセントと併せてご使用いただく接地用オプションです。銅板には予め 6 mm と 3 mm の穴があけられています。



<メンテナンス>

フロア全体を掃くか湿らせたモップをかけた後、低速バッファ(5100 赤バッファパッドと pH 中性クリーナーを併せて使用)を使って掃除します。もし汚れが取れない場合は、5300 青バッファパッドを使用してください。

注意: 10441 Statguard® 除去剤は狭い範囲のしつこい汚れにご使用ください。一度フロアがキレイになって乾けば、あとは乾いた赤バッファパッドをバッファにつけて普段の掃除にご利用ください。

カナダ製

注意: 本製品は、導電性接着剤と接地用銅板を使って特別な設置を行う必要があります。

限定保証

弊社の保証規定に関する詳細は

<http://www.descoasia.co.jp/Limited-Warranty.aspx>

をご覧ください。

保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社が担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

- * 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- * 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番 | 4) ご購入年月日 |
| 2) 製品シリアルナンバー | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先 |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1143

千葉県八街市八街い 193-12

Tel: 043-309-4470

<http://www.descoasia.co.jp/>